

促成鉄砲ユリの遮光が生育に及ぼす影響について

松 崎 昇・山下 喬 之

I は し が き

徳島県における鉄砲ユリの栽培は講入球根によるものが多いなかで、海部青軸鉄砲ユリのみは海部地方の在来の品種で、自家養成球である。

草丈は中型、葉巾広く花は 中輪上向の 早生系の強健な品種であり、球根養成から促成切花まで一貫栽培され主として阪神地方の年末用として好評を得ている。しかしこの品種は初期生育が悪いため、切花時に下部群生葉が多く、葉節間が不均一であるため、他品種に比べ草丈が短く品質の悪くなる欠点がある。これら欠点を改良するため、生育初期に寒冷紗を用いたところ畧所期の成績を得たのでその結果を報告する。

II 試験方法の概要

(1) 海部青軸鉄砲ユリを用い、鉄骨ビニールハウスに畦巾 150cm 株間15cmの 6 条として 9 月19日 植付けた。

(2) 保温管理はビニール、ポリエチレンの二重被覆としビニールは 0.075mm を10月11日ポリはその上部に10月22日に被覆した。

(3) 球根は 7 月20日から 9 月18日までの58日間 冷蔵した。

(4) 遮光はクレモナ寒冷紗の黒と白、巾、180cm を用い、処理期間は25日と45日とし植付と同時に被覆した。

III 試験結果および考察

(1) 球根の冷蔵温度は第 1 表に示すとおり予備冷蔵期間を12日、本冷蔵を46日間とした。発育状態は第 2 表のとおりやや伸び過ぎではあったがよく揃い発根も多く良好であった。

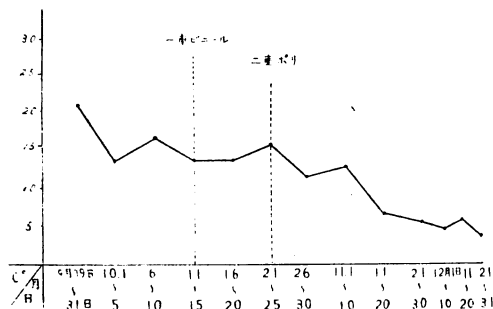
(2) 植付後の温度は第 1 図のとおりで植付当時から10月11日までは 寒冷紗のみとし 最低 気温が 10℃ 以下の時期からビニールを被覆した。その

第1表 冷蔵温度

月 日	7月20日～ 8月2日	8月3日～ 8月12日	8月13日～ 9月18日
温度	10.8℃～ 13.8℃	4.2℃～ 12.0℃	6.7℃～ 8.0℃

第2表 植付当時の発芽状況

区別 項目	寒冷紗 黒35日	寒冷紗 黒45日	寒冷紗 白35日	寒冷紗 白45日	対照区
発芽長	1.6cm	1.2cm	1.3cm	0.8cm	1.5cm



第1図 生育中の温度（最低平均温度）

後さらに温度の低下に伴いポリエチレンを二重に被覆し切花終了まで保温した。この結果から早く被覆して保温すれば初期生育は促進されることが明らかなり、管理上の大切なキメ手と考えられる。

(3) 生育状況

寒冷紗被覆区と無被覆区を比較して初期の生育を知るため寒冷紗黒白35日区を10月26日、同じく黒白45日を11月4日にそれぞれ除去し生育を調査した。対照区にくらべ被覆区の初期生育は良好で葉節間の伸長も均一であった。またこの時の葉数は各区とも大差を認めなかった。葉節間の伸長が、初期生育を良くする第 1 の条件といわれるが、この結果から被覆の効果の大きいことが認め

第3表 生育調査 ○印寒冷紗除去

月 日 区 別	10月1日		10月16日		10月21日	10月26日	11月4日
	草丈	葉数	草丈	葉数	草丈	草丈	草丈
項目	cm	枚	cm	枚	cm	cm	cm
対 照 区	9.2	14.6	11.4	16.2	15.2	18.2	22.1
寒冷紗黒35日	12.0	14.8	16.2	19.4	22.2	29.0	37.9
寒冷紗黒45日	11.9	14.8	17.3	19.1	24.0	27.6	39.0
寒冷紗白35日	10.9	13.5	15.2	17.6	18.6	22.5	30.1
寒冷紗白45日	10.9	15.0	15.4	18.2	21.1	25.2	35.9

られる。生育の状況については第3表のとおりである。

第4表 切花時の生育

月 日 区 別	12月13日			12月17日			12月21日			12月24日		
	草丈	葉数	花数	草丈	葉数	花数	草丈	葉数	花数	草丈	葉数	花数
項目	cm	枚	ヶ	cm	枚	ヶ	cm	枚	ヶ	cm	枚	ヶ
対 照 区	71.6	30.4	2.4	77.1	37.0	2.6	73.1	40.0	2.0	75.1	38.4	2.0
寒 冷 紗 黒35日	73.4	38.0	2.6	85.4	36.0	2.4	83.2	36.7	2.7	85.0	45.0	3.0
寒 冷 紗 黒45日	82.5	33.2	2.5	82.7	38.1	2.1	84.4	20.1	2.6	86.9	44.6	2.6
寒 冷 紗 白35日	78.7	37.2	2.7	91.0	37.5	2.4	77.5	31.6	2.0	87.4	37.1	2.2
寒 冷 紗 白45日	86.0	38.6	2.8	87.0	38.5	2.8	91.2	39.6	2.5	89.8	44.0	2.3

第5表 時期別切花数

時 期 区 分	12月13日	12月17日	12月21日	12月24日	計
	切花数	切花数	切花数	切花数	
項目	%	%	%	%	%
対 照 区	19	30	39	12	100
寒冷紗 黒35日	32	46	17	5	"
寒冷紗 黒45日	36	51	12	1	"
寒冷紗 白35日	28	33	30	9	"
寒冷紗 白45日	34	36	20	10	"

(4) 切花時の生育

① 第4表に示すとおり切花時における草丈の伸長は、初期生育の良い寒冷紗区が無被覆区よりすぐれた。特に45日区では対照区に比し、各切花時期でも10~15cm程度よい結果となっている。黒白寒冷紗の種類による生育は大差なくいずれも良い結果を得た。また葉数は各区とも大差ないが、対照区は基部群生葉が多く葉節間伸長が不均一であった。

② 時期別切花数と輪数との関係は切花時期においては初期生育の旺盛な寒冷紗被覆区が、第5表のとおり切花率が高く品質の点においても良い結果を得たが、輪数の点では大差を認めなかった。

めた。

(4) 輪数は処理間に差がなく被覆期間は35日~45日で有効であることを認めた。

IV 摘 要

(1) 海部青軸鉄砲ユリの初期生育を早めるために寒冷紗を使用し被覆期間をかえて試験を行った。

(2) 冷蔵温度期間等は本試験において大きな影響がみられなかった。

(3) 寒冷紗の黒白被覆はいずれも初期生育が旺盛で、葉節間の伸長も均一であり被覆の効果を認